

○R4年度の進め方

- R4年度はトレーナートレーニングコースの建付けを議論する
- R4年度は人材育成コースのWGを中心に検討を進める

○論点

1. トレーナーの定義を整理する



今回の論点

- 求められるトレーナー像
- トレーナーの能力をどう評価するか
- オンデマンド座学が進んできた中で求められるトレーナー像
- 自分の地域の力を高める志を持つ人をトレーナーとして育成してはどうか

2. 防災SP養成研修の体系の中での位置づけ

- 有明の丘研修・人材育成コースとの連携
- 地域研修との連携

トレーナー像について

これまでの検討会での主なご意見

- ・ 「有明の丘の一部を教えられる人」をトレーナー像としてはどうか
- ・ 「演習を実施できる人」をトレーナー像としてはどうか
- ・ 「地域の力を高める志を持つ人」をトレーナー像としてはどうか
- ・ 「地域研修等で災害エスノグラフィーを実施できる人」をトレーナー像としてはどうか
- ・ 地域防災MGとの連携を考慮してはどうか

ご提案：以下のトレーナー像はどうか

- ・ **人材育成や研修実施を通し、地域防災力を向上できる人**
- ・ **国等の防災機関とネットワーク構築する人材を、育成できる人**



具体的には、以下の項目の実施が可能な人

- ・ 地域で防災人材育成の仕組みを構築
- ・ 研修の体系を理解している
- ・ 国の防災に対する考えを理解した上で研修をコーディネート
- ・ 地域の実情を理解している
- ・ 上記を周囲と協力しながら実施

トレーナー像について

- 防災人材育成には**人材育成全体を見る人**と**人材育成を実際に行う人**の二面があるのではないか
- 地域で研修コーディネートを担う人材**を育成してはどうか

人材育成全体を見る人

求める人物像

- 防災分野全般の災害対応マネジメントを熟知・経験
- 地域の実情を理解
- 地域防災力の向上のために、育成すべき人材を把握

実現できること

- 危機管理監、防災監等の立場で、**人材育成の仕組み**を構築し、地域防災力を向上させる

- 国の防災に対する考えを理解
- 研修の体系を理解している

- 研修のコーディネートを**通して、地方自治体職員の防災活動の遂行能力を向上させる

地域防災マネージャーを想定

人材育成を実際に行う人

求める人物像

- 特定分野の災害対応マネジメントあるいはオペレーションを熟知・経験

実現できること

- 地域研修のコーディネートを**

地域で研修コーディネートを担う人材